

第58回仙台矯正管区教誨師福島研修大会

研修事業評価委員会議事録（自己評価1）

- 1 日時 平成28年10月19日（水）午後2時から
- 2 場所 福島刑務所1階小会議室
- 3 出席者

（1）事業者

福島県教誨師会長（実行委員長）	松本哲朗
札幌矯正管区教誨師連盟事務局長	天野広輝
旭川刑務所教誨師会会長（大会委員長）	柏川法潤
帯広刑務所教誨師会会長	小澤眞了
網走刑務所教誨師会会長 外部関係者	梶尾睦尚

（2）部外関係者

札幌矯正管区成人矯正第二課長	渡邊真也
札幌矯正管区成人矯正第二課事務官	永田善寛
札幌矯正管区成人矯正第二課研修員	金子宗史
旭川刑務所統括矯正処遇官（教育担当）	石山敬大
帯広刑務所上席統括矯正処遇官（教育担当）	大坂悟
網走刑務所統括矯正処遇官（教育担当）	佐藤敦弘

4 研修内容の評価

（1）事業者発言者要旨

- ア 担当庁教誨師の経験不足等はありませんでしたが、皆様方の御支援もあり、事前準備及び進行要領において滞りなく進行することができたのではないかと感じている。
- イ 基調講演、研究発表等を含め、全体として素晴らしい研修大会であり、専門的な知識の向上を含め非常に勉強になった。成昨年度同様、参加者数の減少を認められたため、今後における大きな課題である。
- ウ 特に目立った反省点もなく、基調講演・研究発表ともに素晴らしいものであった。
次回、網走大会も本大会同様に、皆様の御協力を賜り、盛り上げていきたい。
- エ 基調講演については、福祉専門官の実情を把握できたことで専門的知識の向上を図ることができた。

今回の研究発表者は仏教系の教譜師が多く、他宗派の教誨師から質問しにくいところがあったことから、発表者の選定に宗派のバランスを考慮することも大切であると感じた。

また、研修大会は、教誨師の学びにとって重要なもので、あることから、本研修大会を含め、これまで一般化された研修形態を見直す時期にあるのではないかと感じた。

オ 全体を通じて素晴らしい研修大会でありましたが、研究発表については、仏教における各宗派に関する内容であったことから、質疑;*答がしにくい状況が認められたため、今後の課題である。また、昨年に引続き参加者が少ないという声もあったことから、若い教誨師を含め、一人でも多くの教誨師に参加していただけるよう研修大会自体の見直しを図るべきである。

(1) 部外者発言者要旨

ア 研修大会に係る経験不足から、準備の不備等の反省すべき点は多くあるが、皆様方の御支援があり無事に終わることができた。

また、次回開催である網走刑務所へ情報提供を積極行っていきたい。

イ 研究発表後の質疑応答が少なかったため、もっと活楽に意見交換を行う必要があると感じた。

ウ 高齢者・害者に係る専門的知識を学ぶことができた基調講演も各宗派の活動について知ることができた研究発表も、とても素晴らしいものであった。

本研修大会を来年度の網走大会の開催に当たって参考にしたい。